

ふくどん
福井

福祉情報誌 第110号 2016. 7. 1

編集・発行



社会福祉法人

西原町社会福祉協議会

〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地

TEL 945-3651 FAX 946-6777

URL www.nisya.net E-MAIL nisya@nisya.net

夏休みを利用してボランティアに体験してみよう



昨年度のボランティア体験学習
※詳しい募集要項は6面

目次	ボランティア体験学習・・・・・・・・・・	1	はばたきだより・・・・・・・・・・	4
	社会福祉協議会事業・・・・・・・・・・	2	いいあんべー家だより・・・・・・・・	5
	社協決算報告・福祉団体活動・・・・・・・・	3	お知らせ・・・・・・・・・・	6

「福井」は社協会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、沖縄県補助事業等によって作成されています。

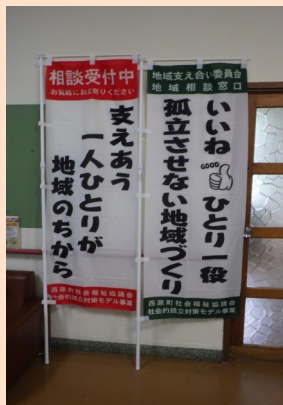
平成28年度11自治会をモデル区に決定！ 社会的孤立対策モデル事業

近年、地域福祉の課題等が増大し、社会的孤立をつくらない取り組みが求められています。

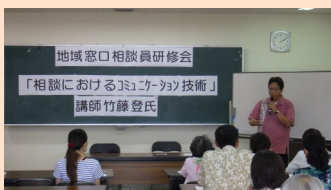
そのような中、本会では、沖縄県社会福祉協議会社会福祉振興基金を活用し、初年度となる今年度はモデル区として下記の町内11自治会を認証しました。

モデル区では、地域で相談と支援を行い、支え合える地域の体制づくりに向け、地域公民館において相談窓口を開設し、住民の身近な相談に対応しています。

ちよつとした困りごと…、誰に相談していいかわからない…、町の相談室へ行くまでもないけれど…。話を聞いてもらうことで心の負担が軽くなることもあります。どんな小さなことでも、ゆんたくだけでも構いません。地域窓口相談員が話を伺います。お気軽に地域の相談窓口へお立ち寄りください。



モデル実施地区のぼり



研修会を実施



モデル区自治会認証式

【平成28年度モデル区】

千原自治会	県営坂田高層住宅自治会
坂田自治会	幸地ハイツ自治会
呉屋自治会	嘉手刈自治会
平園自治会	小那覇自治会
美咲自治会	小波津団地自治会
桃原自治会	

※相談日、時間帯は各自治会により異なりますので、詳細は各自治会へお問い合わせ下さい。

手話奉仕員養成講座 『基礎編』がスタート

平成28年度手話奉仕員養成講座基礎編が6月2日からスタートしました。

手話奉仕員養成講座とは、聴覚障がい者の生活や福祉制度などについての理解、手話によるコミュニケーションの大切さや基本的な手話技術の修得を目的とする講座となっています。

今年度は、入門編を修了された9名の受講者が、全37回（来年3月まで）コースを修了できるよう長丁場に臨みます。

初日を終えた受講者からは、「手話で日常会話がこなせる事を目標に楽しみながら頑張りたいです。」「手話の世界が楽しく思えました。1年間しっかりと講座を受けたいです。」等の抱負が述べられました。

手話は、手で表すことば、目で見ることばと言われています。聴覚障がい者の良き理解者として活動できるよう頑張ってくださいませよう！



講座の様子



前年度の交流会の様子

総会報告とお知らせ

・西原町しょうがい児者父母の会・

定期総会を5月21日（土）に実施し、平成27年度の事業や決算、勉強会などの報告を行いました。その後、懇親会を開き西原町長、社協役員、父母の会会員の皆さんで今後の活動について関わりや今年の事業について懇談し有意義な1日となりました。日頃交流が少ない会員同士このような懇親会の行事をとおし親睦を深めたいと思います。

◎お知らせ

毎年恒例のバーベキュー会を行います。会員はもちろんどなたでも参加できますのでたくさんの方の皆さんの参加をお待ちしています。

○日時…7月17日（日）

午前10時～午後3時

○場所…西原マリンパーク

○会費…1,000円

○問い合わせ先

090-9784-8079（大城）



昨年のバーベキュー会の様子



平成27年度西原町社会福祉協議会一般会計決算報告

<収入>

単位:円

会費収入（各世帯、企業、各種団体、篤志家などからの会費）	2,978,014
寄附金収入（一般寄付や香典返しなどの寄付金）	2,364,923
経常経費補助金収入（西原町からの補助金）	60,853,529
受託金収入（県社協、町事業などの受託金収入）	22,572,998
事業収入（社協事業・共同募金配分金収入）	2,375,633
介護保険事業収入（いいあんべ一家指定管理費）	15,261,673
就労支援事業収入（サポートセンターはばたき事業収入）	13,948,071
障害福祉サービス等事業収入（居宅介護事業、相談支援事業収入）	50,409,420
受取利息配当金収入（預金・定期利息収入）	32,213
その他収入（実習生受入れ謝礼金等）	7,569,359
施設整備等寄附金収入	159,000
積立資産取崩収入	153,216
その他活動による収入	13,156,360
収入合計	191,834,409

<支出>

単位:円

事業費支出（福祉サービス事業に係る費用）	21,471,725
事務費支出（福祉センター、いいあんべ家、サポートセンターはばたきの光熱水費や事務経費等）	11,924,173
就労支援事業支出（サポートセンターはばたき運営に係る費用）	14,380,356
共同募金配分金事業支出（歳末助け合い事業に係る費用）	762,787
助成金支出（団体育成や地域活性の為に助成金）	9,820,580
負担金支出（県社協や中部社連等への負担金）	237,829
人件費支出（役員手当や職員給与、社会保険料等）※補助金・事業収入充当	129,503,230
その他支出	1,100
固定資産取得支出（クーラー設置費用等）	1,697,544
積立資産支出（定期預金へ積立額）	3,060,856
その他の活動による支出（職員退職金の積立）	2,629,920
支出合計	195,490,100
当期資金収支差額（収入-支出）	△ 3,655,691
前期末支払資金残高（繰越金残高）	3,655,691

社会見学で沖縄愛楽園へ

・西原町身体障害者協会・

6月12日、西原町身体障害者協会は、平成28年度最初の行事として、視察研修を実施し、ハンセン病問題について理解を深めるため沖縄愛楽園交流会館（名護市済井出在）を訪ねました。

ハンセン病は、「らい」と呼ばれていましたが、偏見や差別を生む呼称であるとして、現在は「ハンセン病」と呼ばれています。ハンセン病は、らい菌によって末梢神経と皮膚が侵される病気ですが、らい菌は病原性が極めて弱いために感染しても抵抗力があれば菌との共生状態が続く、何らかの原因で発症すると運動麻痺や知覚麻痺を起し、特効薬のない時代は患者の身体に重い障害をもたらすことがありました。

日本は、ハンセン病患者の存在を国の恥と捉え患者を隔離する方針をとり、1907年の法律「らい予防法」に関する件に始まり、1931年にそれを「らい予防法」と改め、全ての患者を死ぬまで療養所に閉じ込めました。私たちは今回の視察研修で、ハンセン病に関する「差別」と「偏見」が患者をどれほど苦しめ、患者自身（本人）の人生を台無しにしたかという事も含め、ハンセン病について深く理解することができました。

のびのび健康寿命

・抱おつー地域ひろを

・町老人クラブ大会・

5月24日、町中央公民館ホールにて「のびのび健康寿命 抱おつー地域ひろを」を開催しました。第43回西原町老人クラブ大会が開催されました。約220名の老人クラブ会員と多くの来賓が集うなか、西老連総務部長の城間虎雄さんが司会進行を務めました。

参加者全員による老人クラブの歌の斉唱後、西老連の平安恒政会長より18名の会員へ表彰状、感謝状が授与され、また優良単位クラブとして棚原老人クラブが表彰されました。

来賓として上間明西原町長、新川喜男西原町議会議長、新垣昇中老連会長、新川善昭社会福祉協議会会長よりごあいさつがありました。長嶺徳三掛保久さわふじ友の会々長による老人クラブ活動の宣言決議案が読み上げられ、大会参加者らの同意が得られました。



大会の様子





【利用者状況】・定員30名、利用登録人数23名（男性16名、女性7名平成28年3月末現在）
・主たる対象者：知的障害者、精神障害者

名称・サポートセンターはばたき（障害福祉サービス：就労継続支援B型事業）
【事業方針】
障害者総合支援法の就労支援B型事業として、利用者へ就労の機会（仕事）を提供すると共に生産活動（授産）を通して、利用者の一人ひとりの希望に沿いながら仕事への適応力を身につけ、地域社会で自立して安心した生活が送れるよう支援を行います。

平成27年度サポートセンター
はばたき事業実績報告・決算報告

はばたき だより

○名称
社会福祉法人西原町社会福祉協議会
サポートセンターはばたき
○営業日
毎週月曜日～金曜日
（土・日・祝日は休み）
○開所時間
8:30～17:15



【授産活動状況】
・就労訓練（精米事業、喫茶事業、清掃業務受託事業、EM農耕事業、室内作業事業、菓子製造事業）
・利用者平均工賃：12,420円
【利用者支援】
・利用者余暇活動（年6回）
・利用者研修（年7回）
・はばたきエンジョイクラブ活動（誕生日会、お楽しみ会の開催）
・きょうさん沖縄支部仲間会への参加など



【授産活動状況】
・就労訓練（精米事業、喫茶事業、清掃業務受託事業、EM農耕事業、室内作業事業、菓子製造事業）
・利用者平均工賃：12,420円

<収入>

(円)

就労支援事業収入（お米販売、喫茶店売上などの就労による収入）	15,461,231
自立支援費収入	28,707,430
経常経費補助金収入、町受託金収入（町補助金、受託金など）	514,576
雑収入、寄付金、受取利息配当金収入	106,324
収入合計	44,789,561

<支出>

(円)

就労支援事業費（就労支援に係る材料代・通所利用者支給金など）	14,380,356
運営費（人件費、事務費、事業費）	29,401,402
固定資産取得支出（精米真空機）	331,020
その他活動支出（積立資金、雑支出など）	1,931,900
支出合計	46,044,678
当期資金収支差額合計	△1,255,117
前期末支払資金残高（繰越金残高）	1,255,117



スタンプを押した
土のう袋

○喜屋武明さんからの一言
「守礼興業さんお仕事を頂き、誠にありがとうございます。下半期も頑張りますので、よろしくお願いします。」



作業に励む明さん

サポートセンターはばたきでは、町内事業所の守礼興業さんより「土のう袋スタンプ押し」作業を請け負っています。
スタンプ押し作業では、主に喜屋武明さんが携わっており「除塩砂」のスタンプを土のう袋一枚一枚に心を込め、手が真っ黒になるまで丁寧に一所懸命に押しつけています。

土のう袋スタンプ押し
頑張っています



西原町介護予防拠点施設



いいあんべー家 だより



開館日:毎週月曜日～土曜日【日・祝日・年末年始休館】

時 間:9時～17時15分

対象者:西原町在住・在勤の40歳以上の方

利用料:100円【マッサージ器具などを利用できます】

場 所:西原町字与那城135番地(中央公民館隣)

電 話:098-946-1734

※利用時に介助が必要な方は介助者の同伴をお願い致します。

県営西原団地自治会

介護予防事業
として

いいあんべー共生事業

始めました!!

平成28年4月から、『県営西原団地自治会』でもいいあんべー共生事業が始まりました。

いいあんべー共生事業とは、西原町在住で40歳以上の方を対象に公民館や自治会事務所などで行われる、地域での介護予防事業です。

地域の事業開催場所に集まり、運動や健康講話などを開催し参加することで、介護状態にならないよう予防するための事業です。

県営西原団地自治会では、毎月第2木曜日を活動日行う予定です。まだ、始まったばかりということもあり、参加人数が少な数ではありますが、集合住宅の利点を活かして、これから徐々に増えていくことを期待しています。

ある調査では、健康寿命が最下位(47都道府県中)の沖縄県!他の県にも追いつけるよう、地域での介護予防も盛り上げていきたいと思います。

県営西原団地自治会集会所

場 所:県営西原団地自治会集会所
(西原町字小波津44)

TEL:927-3226(自治会)

担 当:砂川・上原

活動日:毎月第2木曜日

時 間:14時～16時



本事業は各地域ボランティアさんをはじめ参加される皆様のご協力のもと事業を継続できております。事業に関わっている皆様ありがとうございます。これから本事業へのご理解とご協力よろしくお願い致します。

「水陸運動教室」

ブルーでの「水中運動」といいあんべー家での「ちよこつと体操」を組み合わせた「週2回の教室」を開催します。両方参加できる方が対象です。

●内 容 教室前後で体力測定実施、血圧・体重を測定。

- ・水中運動(水中歩行や筋力向上運動、ストレッチなど)
- ・ちよこつと体操(ストレッチや筋力向上運動、バランスなど)

●日 程 平成28年8月5日(金)～10月28日(金) 全23回

	日程	内容
1	8月5日(金)	体力測定
2	10日(水)	体操
3	12日(金)	プール
4	19日(金)	プール
5	24日(水)	体操
6	26日(金)	プール
7	31(水)	体操
8	9月2日(金)	プール
9	7日(水)	体操
10	9日(金)	プール
11	14日(水)	体操
12	16日(金)	プール
13	21日(水)	体操
14	28日(水)	体操
15	30日(金)	プール
16	10月5日(水)	体操
17	7日(金)	プール
18	12日(水)	体操
19	14日(金)	プール
20	19日(水)	体操
21	21日(金)	プール
22	26日(水)	体操
23	28日(金)	体力測定

●時 間

- ・体力測定 11時～12時
- ・体操 11時～11時45分
- ・プール 11時20分～12時20分

●場 所

- ・体力測定、体操(いいあんべー家)
 - ・プール(寿スイミングスクール)南風原町字宮平499番地
- ※送迎はありませんのでご了承ください。

●定 員

- 8名(先着順)
- ※昨年度の水中運動に参加されていない方が優先です。
- ※現在、個人でスポーツクラブなどプールに通っていない方

●対 象

- ①西原町在住40歳～74歳
 - ②水中運動を行う際に心身ともに支障のない方
 - ③寿スイミングスクール「入水厳禁者」項目に該当しない方
- ※直接ご自身で参加できる方となります。

●受講料

無料

●募集期間

平成28年7月1日(金)～7月30日(土) 9時～17時まで

●受 付

- ※定員に達し次第、締め切りとなります。
- ※西原町いいあんべー家窓口にて直接申し込み
- ※申し込み用紙1枚(必須)
- ※医師からの情報提供書1枚(必須)



平成28年度ボランティア体験学習参加者募集！！

1. オリエンテーション・福祉学習（場所：西原町社会福祉センター 大広間・研修室）

1回目：平成28年7月26日（火）午前10時～午後4時

2回目：平成28年7月27日（水）午前10時～午後4時

2. 施設ボランティア体験期間：平成28年8月1日（月）～8月19日（金）

3. 修了式：平成28年8月22日（月）午前10時～午後12時

（場所：西原町社会福祉センター 大広間）

4. 対象：西原町在住及び西原町内の学校に通う中学・高校・大学生

5. 定員：100名

6. 内容：①オリエンテーション・福祉学習に参加する。



②施設ボランティア体験学習 ※期間内に2日間（昼食時間を含む1日7時間）指定施設の中より2カ所（高齢者施設or障害者施設、幼稚園or保育園）を選び体験する。

③上記（①、②）の日程修了者に修了式にて修了証書を授与する。

7. 参加費：無料（但し、交通費等は自己負担となります。）

8. 参加申込：町内学校に配布している申込書に必要事項を記入のうえ担当教諭へ提出、または下記へ直接申込みください。

9. 申込期限：7月15日（金）まで

10. 連絡先：社会福祉法人 西原町社会福祉協議会（担当：山田）

TEL 945-3651 / FAX 946-6777



平成28年度 沖縄県ひとり親世帯就職支援事業（沖縄県特別推進交付金活用事業）

ひとり親世帯の就職支援事業がスタートします!!

来て! 見て! 相談、あなたに合う仕事一緒に探しませんか?

70名「仕事」と「子育て」の両立を目指す「働きたいパパ・ママ」募集!!

説明会参加申込み受付中!

6月29日(木) 10:00~16:00 沖縄県総合福祉センター 4-373-1 託児所あり! (要予約)

7月5日(木) 13:30~16:00 イオンモール沖縄ライカム 3階イオンホール (要予約)

※当日、参加できない方もお気軽にご連絡ください。

●申込みから研修社員採用までの流れ

説明会参加申込み → 説明会相談・登録 → 事前研修(託児有償付) → 企業面接マッチング → 採用3カ月の短期雇用 → 継続雇用を目指す

職場研修の前にスキルを身につけ、自信をつけましょう(資格取得可能)

●面接、スキルチェック、審査のコースが分かります。

5日間コース PC基礎スキル、コミュニケーションやビジネスマナーなど(もしも検定)

21日間コース IT基礎、アプリケーション活用、社会人基礎研修、キャリアカウンセリングなど(PC検定3級)

1時間あたり 880円×1日(8時間)×事前研修(5日間コース) (21日間コース)

申込み先 事務局：公益社団法人 沖縄県母子寡婦福祉連合会 Y903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1 沖縄県総合福祉センター内(東棟3階) 同時受付 株式会社 琉球新報開発 098-865-5270

TEL.098-887-4099

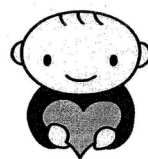
主催：沖縄県 沖縄県労働関係政策課

視覚に障害のある乳幼児、児童生徒、成人のための

夏休み集中教育相談会

沖縄県立沖縄盲学校では、視覚に障害や困難のある方とその支援に携わる方（保護者、教師、支援者等）、医療・福祉機関等の関係者のみなさまを対象に学校を開放し、教育相談会と視覚支援機器展を実施します。

進路や受験について心配な中高生、見え方に合った本や補助具を探している方、子どもの就学の場を考える保護者の方など、どなたでも、お気軽に足をお運びください。



気になることがありましたら、ご相談ください

期日：平成28年8月3日(水)

場所：沖縄県立沖縄盲学校
(南風原町字兼城473)

時間：9:30~16:30

内容：①視覚障害教育ガイダンス(9:30~10:15)
②個別教育相談(養育、就学、進学、学習指導等について) (★要予約)
③視能訓練士による視機能相談 (★要予約)
④教材教具展(自立活動の教具や、ルーペ・単眼鏡などの補助具展)
⑤県外メーカーによる視覚補助具展(遮光眼鏡、拡大読書器など)
⑥「生活を便利にする」iphone・ipadの活用 (★要予約)

☆ ②③⑥は、少人数予約制となります。早めの申し込みをおすすめします ☆
また、手びきやご案内の必要な方は、事前にお電話ください。

②③⑥の お申し込みは 7月6日(水)まで、電話 でお申し込み下さい

沖縄盲学校 889-5375
(TEL受付時間 10:00~17:00)

視覚支援補助具、機器
展示・相談会
10:00 ~ 16:30

担当者：沖縄盲学校 特別支援教育コーディネーター 津嘉山

御芳志

御芳志がありましたので、紙面に
て紹介し深く感謝申し上げます。

◆一般寄付◆

・株式会社金秀グループ様より30万円

◆物品・野菜寄贈◆

・小波津盛光様、西原ファーム様、玉那覇正之様よりお元気ですか事業へ野菜提供